

【学びの履歴】各教科

特別支援学校高等部学習指導要領(H31) P214～222参照		
高等部【音楽】目標		
表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
(1) 曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	(2) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。	(3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育むとともに、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。
【1段階】		
知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
ア 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作、身体表現の技能を身に付けるようにする。	イ 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを自分なりに見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。	ウ 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しみ、音楽経験を生かして生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。
【2段階】		
知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
ア 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作、身体表現の技能を身に付けるようにする。	イ 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。	ウ 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

■ 特別支援学校高等部学習指導要領(H31)に示される各教科の「目標」に照らして、その「内容」の習得状況を記入する。

○:学習した内容 ◎:学習した内容をおおむね習得している

- * まだ学習していない内容については、空欄にする。
- * 高等部2段階の内容を習得し、一部、高等学校や小・中学校学習指導要領の内容を発展的に取り扱っている場合は、別紙様式に記入する。
- * 高等部の段階の指導が難しい場合は、中学部、小学部の目標や内容を参考にする。しかしながら、教科の名称までを替えることはできないことに留意する。

【学びの履歴】各教科

特別支援学校高等部学習指導要領(H31) P214～222参照

高等部【音楽】1段階

目 標

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
ア 曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作、身体表現の技能を身に付けるようにする。	イ 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを自分なりに見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。	ウ 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しみ、音楽経験を生かして生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

内 容

		1学年	2学年	3学年
A 表現	ア 歌唱の活動 (ア) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫すること。 (イ) 次の⑦及び⑧について理解すること。 ⑦ 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わり ⑧ 声の音色や響きと発声との関わり (ウ) 創意工夫を生かした表現をするために必要な次の⑦から⑩までの技能を身に付けること。 ⑦ 範唱を聴いたり、ハ長調及びイ短調の楽譜を見たりして歌う技能 ⑧ 呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能 ⑨ 互いの歌声や副次的な旋律、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能			
	イ 器楽の活動 (ア) 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫すること。 (イ) 次の⑦及び⑧について理解すること。 ⑦ 曲想と音楽の構造との関わり ⑧ 多様な楽器の音色と演奏の仕方との関わり (ウ) 創意工夫を生かした表現をするために必要な次の⑦から⑩までの技能を身に付けること。 ⑦ 範奏を聴いたり、ハ長調及びイ短調の楽譜を見たりして演奏する技能 ⑧ 音色や響きに気を付けて、旋律楽器及び打楽器を演奏する技能 ⑨ 各声部の楽器の音や伴奏を聴いて、音を合わせて演奏する技能			
	ウ 創作の活動 (ア) 創作表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫すること。 (イ) 次の⑦及び⑧について、それらが生み出す面白さなどに関わらせて理解すること。 ⑦ いろいろな音の響きやそれらの組合せの特徴 ⑧ 音やフレーズのつなげ方や重ね方の特徴 (ウ) 創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付けること。			
	エ 身体表現の活動 (ア) 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身体表現を創意工夫すること。 (イ) 次の⑦及び⑧について理解すること。 ⑦ 曲想と音楽の構造との関わり ⑧ 曲想と体の動きとの関わり (ウ) 創意工夫を生かした表現をするために必要な次の⑦から⑩までの技能を身に付けること。 ⑦ 曲の速度やリズム、曲想に合わせて表現する技能 ⑧ 設定した条件に基づいて、様々な動きを組み合わせるとままりのある表現をする技能 ⑨ 友達と動きを組み合わせるとままりのある表現をする技能			
B 鑑賞	ア 鑑賞の活動 (ア) 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴くこと。 (イ) 曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて理解すること。			
[共通事項]	(1) 「A表現」及び「B鑑賞」 ア 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えること。 イ 音楽を形づくっている要素及びそれらに関わる用語や記号などについて、音楽における働きと関わらせて理解すること。			

【学びの履歴】各教科

特別支援学校高等部学習指導要領(H31) P214～222参照

高等部【音楽】 2段階

目標

知識及び技能	知識及び技能	知識及び技能
ア 曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作、身体表現の技能を身に付けるようにする。	イ 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。	ウ 主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

内容

		1学年	2学年	3学年
A 表現	ア 歌唱の活動 (ア)歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫すること。 (イ)次の⑦及び⑧について理解すること。 ⑦ 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わり ⑧ 声の音色や響き及び言葉の特性と発声との関わり (ウ)創意工夫を生かした表現をするために必要な次の⑦及び⑧の技能を身に付けること。 ⑦ 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能 ⑧ 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら、他者と合わせて歌う技能			
	イ 器楽の活動 (ア)器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を創意工夫すること。 (イ)次の⑦及び⑧について理解すること。 ⑦ 曲想と音楽の構造との関わり ⑧ 多様な楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わり (ウ)創意工夫を生かした表現をするために必要な次の⑦及び⑧の技能を身に付けること。 ⑦ 創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方などの技能 ⑧ 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音などを聴きながら、他者と合わせて演奏する技能			
	ウ 創作の活動 (ア)創作表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、創作表現を創意工夫すること。 (イ)次の⑦及び⑧について、表したいイメージと関わらせて理解すること。 ⑦ 音のつながり方の特徴 ⑧ 音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴 (ウ)創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付けること。			
	エ 身体表現の活動 (ア)身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身体表現を創意工夫すること。 (イ)次の⑦及び⑧について理解すること。 ⑦ 曲想と音楽の構造との関わり ⑧ 曲想や音楽の構造と体の動きとの関わり (ウ)創意工夫を生かした表現をするために必要な次の⑦から⑧までの技能を身に付けること。 ⑦ 曲の速度やリズム、曲想に合わせて表現する技能 ⑧ 設定した条件に基づいて、様々な動きを組み合わせたり、即興的に動いたりしてまとまりのある表現をする技能 ⑨ 友達と動きを組み合わせたり、即興的に表現したりする技能			
B 鑑賞	ア 鑑賞の活動 (ア)鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどについて自分なりに考え、曲全体を味わって聴くこと。 (イ)次の⑦及び⑧について理解すること。 ⑦ 曲想及びその変化と、音楽の構造との関わり ⑧ 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史などとの関わり			
[共通事項]	(1) 「A表現」及び「B鑑賞」 ア 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えること。 イ 音楽を形づくっている要素及びそれらに関わる用語や記号などについて、音楽における働きと関わらせて理解すること。			